

首都大学東京 大都市ガバナンス研究セミナー

「大都市における基礎自治体—ソウルと東京」

首都大学東京・財特別区協議会 共催

地方分権改革が進められるなか、大都市制度、ことに都区制度は置き去りにされた観がある。

本セミナーでは、ソウル市における自治区と東京における特別区とを比較検討することを通じて、大都市における基礎自治体のあり方を考察する。

開催日時 平成21年1月16日（金） 午後2時より
（基調講演1時間程度。ディスカッション1時間程度。）

開催場所 特別区自治情報・交流センター 35教室
（東京区政会館3階 千代田区飯田橋3-5-1）

<基調講演> 「ソウル市と自治区」(仮)

林 承彬(イム・スンビン) 明知(明知)大学校教授

プロフィール: 専門は、行政学・地方自治論。東京大学大学院総合文化研究科修了。博士(学術)。東京大学大学院在学中は、大森彌東京大学名誉教授(元特別区制度調査会長)に師事

<ディスカッション>

林 承彬 明知大学校教授

大杉 覚 首都大学東京教授 (基礎自治体としての特別区について)

伊藤正次 首都大学東京准教授 (基礎自治体論議の動向を中心に)

全体司会 大杉 覚 首都大学東京教授

※ 本セミナーは、本年度「グローバル競争時代の大都市ガバナンスに関する日韓比較共同研究」(首都大学東京内プロジェクト研究, 代表研究者: 大杉覚教授)の一環として企画したものです。

【問い合わせ先】

財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

電話03-5210-9079 岡田・月芳